

## 人口問題総合戦略推進会議及び専門委員会における主な意見

今後5年間の取組みとしては、合計特殊出生率の上昇に向けた取組みを粘り強く行いながらも、県外への流出対策に特に力を入れて取り組むべきでないか

生産年齢人口の減少が進む中、元気な高齢者や女性の就業促進のための施策を強化すべき

### 【産業力の強化と成長産業の育成】

#### 女性やシニアの起業について

(専門委員会)

- ・日本一シニア起業しやすい県という打ち出しをしてはどうか
- ・シニア起業に特化したセミナーやコンペをするなど優れた事例をモデル的に取り組むべき
- ・起業支援のため、起業を希望する人の情報提供を金融機関に行ってもらいたい
- ・生産年齢から外れる65歳以上を愛媛独自でネーミングをしてはどうか

#### 県内産業の活性化と人材の育成

(推進会議)

- ・本県では雇用の86%が中小企業であり、中小企業の強化が重要
- ・元気な高齢者による介護のファミリーサポートなど高齢者世代の活躍できる場が必要

(専門委員会)

- ・産業集積を活かしたマザー工場化や大学の知的財産と結びつける取組み
- ・自転車による観光振興を、産業に結び付けていく工夫や他の主体との連携
- ・地域に密着した個人商店や飲食店等の創業支援
- ・愛媛産品のブランド化について、健康面での効果等をアピールしてはどうか
- ・大学進学までに、地域の仕事を知り、本質的に何のために働くのかを考える場を作るべき

### 【良質な雇用の場の創出と次代を担う人材の確保】

#### 雇用の質の向上

(専門委員会)

- ・雇用の量の確保だけでなく、質を向上させていくことも不可欠
- ・県版健康経営格付けや「スゴ」を作り良質な雇用の場をPRしてはどうか
- ・健康に寄与する活動にポイントを付与するような健康マイレージ制度の創設
- ・ワークライフバランスセミナーの対象を広げ、働き方改革についての機運を醸成すべき

#### 次代を担う人材の確保

(推進会議)

- ・農村の就業機会減少による兼業農家が大幅に減少し、企業誘致に伴う増加に期待

(専門委員会)

- ・愛媛の企業が何をやっているか等の情報をきめ細かに行う仕組みが必要
- ・就職氷河期世代のフリーターや若年無業者の支援が必要

## 【移住・定住の促進】

(専門委員会)

- ・第一次産業の若者の取組みを全国に発信すると強みになるのではないかな
- ・愛媛の魅力を他県と差別化して発信することが大事

## 【にぎわいの創出による交流人口の拡大】

(専門委員会)

- ・県の枠を超えて連携することが重要で、「日本版 DMO」を作るアクションを起こしてはどうか

## 【子ども・子育て支援の充実】

(推進会議)

- ・幼児教育の経費負担を県下市町で統一してほしい
- ・子育てワンストップから、妊娠時からのワンストップ体制へ拡充してはどうか

(専門委員会)

- ・教育費への補助や空き家を利用して安く住宅を子育て世帯に供給してはどうか

## 【子育てと仕事の両立支援】

(推進会議)

- ・父親の育児参加を企業や行政はもっと応援してもらいたい

(専門委員会)

- ・個々の企業では限界があるので、社内保育所等の共同で設置してはどうか

## 【安心できる環境の整備】

(専門委員会)

- ・単に元気な地域・健康ということだけでなく、県内医療検査機器メーカーとタイアップするなど、ものづくりや経済活性化にも繋がるストーリー作りをしてはどうか

## 【地域を支える担い手の確保】

(推進会議)

- ・子どもに愛媛の良さを分かってもらうため、教育の中で各団体と連携した農林漁業体験を実施してはどうか